

次の資料に基づき、2016年4月1日から2017年3月31日の連結精算表を完成させなさい。  
ただし、税金と税効果は考慮しないものとする。単位はすべて千円である。

【資料1】

ニワトリ株式会社は、2015年3月31日に、ヒヨコ株式会社の発行済株式総数(10,000株)の70%を220,000で取得して支配を獲得し、これ以降ヒヨコ株式会社を連結子会社として連結財務諸表を作成している。ニワトリ株式会社のヒヨコ株式会社に対する持分の変動はない。のれんの償却は、支配獲得時の翌年度から10年間で均等償却を行っている。

2015年3月31日のヒヨコ株式会社の個別貸借対照表は以下のとおりだった。

ヒヨコ株式会社の個別貸借対照表

(2015年3月31日)

諸資産	600,000	諸負債	300,000
		資本金	200,000
		資本剰余金	50,000
		利益剰余金	50,000
	600,000		600,000

【資料2】

ヒヨコ株式会社の連結第1年度(2015年4月1日から2016年3月31日)の当期純利益は30,000であり、配当は行わなかった。

【資料3】

ニワトリ株式会社及びヒヨコ株式会社の連結第2年度(2016年4月1日から2017年3月31日)の個別財務諸表は、解答用紙に記載のとおりである。

【資料4】

連結第2年度(2016年4月1日から2017年3月31日)において、連結会社間で以下の取引があったことがわかっている。

- ① 連結第2年度より、ニワトリ株式会社からヒヨコ株式会社に対して商品を販売している。ニワトリ株式会社のヒヨコ株式会社に対する売上高は220,000であった。一方、ヒヨコ株式会社においては、ニワトリ株式会社からの仕入高として216,700を認識している。両者の差額は、期末日(2017年3月31日)時点で、ニワトリ株式会社が商品を出荷したものの、ヒヨコ株式会社で検収していないことによるものであった。
- ② ニワトリ株式会社の売掛金残高のうち、30,000がヒヨコ株式会社に対するものである。ヒヨコ

株式会社の買掛金残高のうち、26,700 がニワトリ株式会社に対するものである。両者の差額は①の未達取引により生じたものである。ニワトリ株式会社では、売掛金残高に対して 3%の貸倒引当金を計上している。

- ③ ニワトリ株式会社では、自社の仕入金額に 10%の利益を上乗せしてヒヨコ株式会社に商品を販売しており、ヒヨコ株式会社はニワトリ株式会社から仕入れた商品を外部に販売している。期末日(2017年3月31日)時点で、ヒヨコ株式会社が保有する棚卸資産のうち、6,600 がニワトリ株式会社から仕入れたものである。この他に、①の未達取引の棚卸資産が存在している。

## 解説

### 開始仕訳

#### 投資と資本の相殺

資本金当期首残高	200,000	子会社株式	220,000
資本剰余金当期首残高	50,000	非支配株主持分当期首残高	90,000
利益剰余金当期首残高	50,000		
のれん	10,000		

$$\text{のれん} : 220,000 - (200,000 + 50,000 + 50,000) \times 70\% = 10,000$$

#### 連結第1年度ののれん償却

利益剰余金当期首残高	1,000	のれん	1,000
------------	-------	-----	-------

$$10,000 \div 10 = 1,000$$

#### 連結第1年度の利益振替

利益剰余金当期首残高	9,000	非支配株主持分当期首残高	9,000
------------	-------	--------------	-------

$$30,000 \times 30\% = 9,000$$

### 連結第2年度の連結修正仕訳

#### のれんの償却

販売費及び一般管理費	1,000	のれん	1,000
------------	-------	-----	-------

#### 利益振替

非支配株主に帰属する 当期純利益	12,000	非支配株主持分当期変動額	12,000
---------------------	--------	--------------	--------

$$40,000 \times 30\% = 12,000$$

#### 配当金の振替

営業外収益	14,000	剰余金の配当	20,000
非支配株主持分当期変動額	6,000		

受取配当金  $20,000 \times 70\% = 14,000$  を消去 (残りは非支配株主持分へ)

#### 未達取引の修正

売上原価	3,300	買掛金	3,300
棚卸資産	3,300	売上原価	3,300

220,000-216,700=3,300 について修正し棚卸資産へ振替

取引及び債権債務の相殺

買掛金	30,000	売掛金	30,000
売上高	220,000	売上原価	220,000

貸倒引当金の修正

貸倒引当金	900	販売費及び一般管理費	900
-------	-----	------------	-----

$30,000 \times 3\% = 900$

未実現利益の消去

売上原価	900	棚卸資産	900
------	-----	------	-----

$(6,600 + 3,300) \div 1.1 \times 0.1 = 900$  (未達分も含めて未実現利益を消去する)